

広報

# しんじょう

8

2010

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.632

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール [info@city.shinjo.yamagata.jp](mailto:info@city.shinjo.yamagata.jp)

ホームページ検索

検索



## 区長と市長のまちづくり会議

わたしが見た新庄／都市×農村交流

国勢調査を実施します／夜間休日診療所利用状況



■平和都市宣言旗[生命樹]

新庄市平和都市宣言を象徴する旗。青空に力強く伸びる大樹と生きることの尊さを表現。昭和59年5月26日から市庁舎前に掲揚している。

地域の声を市政へ

# 区長と市長のまちづくり会議を開催

七月十二日から十五日にかけて、市内の五ブロックで「第二十一回区長と市長のまちづくり会議」を開催しました。区長から提案された市政への意見を中心に、活力と魅力あるまちづくりの実現に向けて話し合いました。提出された意見は、十九件。その一部を紹介します。

## 人口 雇用創出と定住促進

■区長／市の人口は四万人を切る事態となった。企業誘致や産業振興による雇用の創出や住環境の整備、婚活支援などによる定住の促進に向けた取り組みを市民と行政、企業などが協働で取り組んでいくことが必要。

●市長／本市の人口は、昭和三十五年の四万三千五百五十人をピークに四万二千～三千人台で推移してきました。近年は、人口減少社会の全国的な流れの中で、本市においても減少傾向にあり、平成二十年三月末以降、住民基本台帳人口が四万人を切る状況となっています。

このため、企業誘致活動だけでなく、農業・製造業・商業の振興を骨格とした総合的な産業振興により、雇用の創出を図ります。また、子育

て環境の整備・充実、暮らしやすい生活環境の整備など、さまざまな施策を重点展開していくことで定住の促進を図っていきたいと考えています。

また、少子化対策の一つとして男女の出会いの場の設定などの婚活支援活動が増えてきています。本市においても、新庄商工会議所青年部との市民協働提案事業として交流パーティーや学習セミナーを開催しています。

これまで以上に各分野の連携を図り、複合的・総合的に施策を展開し、人口の減少幅を少しでも抑え、活力を維持向上させ、魅力あるまちを創っていきたいと考えています。

## 観光 新庄まつりと観光振興

■区長／地区の総会で、若い人から「新庄まつり」をさらに盛り上げ

たいとの意見が出された。新庄まつりの活性化を図り、さらなる集客を。

●市長／新庄まつりは、昨年、国重要無形民俗文化財の指定を受け、今年は、まつりの由縁である天満宮の改修が完成する予定で、歴史的な基盤も整います。

昨年の新庄まつりの観光客の数は四十六万人。さらなる集客向上策として、隣県と首都圏でのテレビコマーシャルや、湯沢、横手、大崎と広域で連携したまつり交流などを実施しています。

観光客を受け入れるにあたり、宿泊地として最上郡内はもとより県内や隣県との連携を強化していく必要があります。また、体験型観光メニューの開発や情報発信など時代のニーズに適合した新たな取り組みが必要です。

新庄まつりを起爆剤として交流人口を拡大させ、新庄・最上地域の物産の売り上げを向上させることで、市民所得の向上や雇用に結び付けたいと考えています。





## 地域づくりに活用ください コミュニティ助成事業

コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として、地域のコミュニティ(地域社会)活動に対して助成を行うものです。

### ◆助成対象

自治会・町内会などの地域的な共同活動を行っている団体、またはその連合体。

### 平成22年度宝くじの 助成金で整備した団体

【八向地区「自治コミュニティ連合会」】

○助成額 250万円

○助成対象 コミュニティ広場の整備(芝生植栽)



【上万場町町内会】

○助成額 250万円

○助成対象 防犯灯の整備



※平成23年度事業の申請については現在未定となっています。事業の実施を希望する自治会・町内会などは政策経営課までお問い合わせください。

◎政策経営課企画政策室

☎内線242



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

■区長／小学校、中学校の統合が話題になっているが、教育面で充実を図ってほしい。

●市長／市では、「たくましい新庄っ子」の育成を目指し、平成十八年から小中一貫教育に取り組んでいます。また、義務教育九年間を通して学校・地域の連携の輪を広げながら、「地域に根ざした学校づくり」を推進しています。

さらに、今まで地域と連携して進められてきた地域の伝統や文化、風土を学ぶ「ふるさと学習」を発展的に継続し、効率化や切磋琢磨だけでなく個を大事にする情操豊かな「こころの教育」を重視し、現在策定中の「新庄市小中一貫教育基本計画」においてしっかり位置付けて進めていきたいと思っています。

## 教育 小中一貫教育で 教育の充実を

■区長／市道の除雪の際、自宅出入り口に大きい塊が置き去りになり、高齢化が進んでいる現在、その処置に苦慮している。冬季間の快適な暮らしのため、除排雪の強化を。

●市長／除排雪につきましては、定住促進や、暮らしやすい生活環境づくりのための最重要課題と認識しています。そのため、今年度、新たにロータリー除雪車を追加購入し重点路線の除雪体制を強化し、冬季交通の安全確保を図ります。

ご要望の玄関口の雪の塊については、なるべく大きいものは砕くよう除雪業者者にお願いしています。一方、雪置き場が少なくなってきたており、作業する上で大変苦慮しています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## 生活 冬季間の除排雪の強化

■区長／職員の対応にバラつきが目立つ。公務員としての自覚はもちろん、職務に対する意欲、市政発展への気概が感じられない。特に中堅層以上に感ずる。財政難を理由に、市民サービスが低下してないか。職員、議員定数が多くないか。

●市長／限られた財源の中で、皆さんから納得いただけるサービスを提供するためには、少ない職員でいかに機能的に行政を運営していくかが課題となっています。

今年三月に策定した「人材育成基本方針」を基本に、職員一人ひとりの能力向上を図り、市民の目線で行動し、改善や改革に取り組む職員集団となるよう組織一丸となつて取り組みます。

職員数は、平成十六年四月に三

## 革新 職員の資質向上と 適正な定員管理を

百九十二人体制であった組織を、今年四月には三百二十人体制とし、七十二人、二割近い職員を削減しました。

今後も住民サービスを維持しながら組織のスリム化を図ります。現在取り組んでいる「定員管理計画」では、五年後の平成二十六年四月時点で職員数を三百人以下とする計画です。

議員定数については、平成十五年から議会独自の削減対策を実施し、平成十九年四月に行われた市議会議員選挙から、定数を二十四人から二十人となりました。

さらに、今年二月、議会内に「議会改革・活性化検討会」を設置し、議会活性化に向けて議会のあり方を見直すとともに、議会活動をどう市民の皆さんに伝えるかなどを中心に、議員定数も含め検討しています。

# わたしが見た新庄。

国家公務員「地方自治体実地体験」

六月十四日から十八日の五日間、今年度、国家公務員として採用された職員三人が「地方自治体実地体験」の研修生として、市を訪れました。この実地体験は、国家公務員が地方自治体の業務を通して地方の実態について理解を深めることを目的としています。研修生は、五日間にわたり、財政、市民協働、農政、観光など市政全般について業務を体験。それぞれの視点で見た新庄の魅力などについてまとめてもらいました。



■空蔵四季の家でそば打ち体験



■ふるさと歴史センターを視察



■写真撮影／研修生



■農地・水・環境保全向上対策事業で子どもたちと一緒に植花

## 観光

国土交通省国土地理院  
地理調査部環境地理課  
須賀正樹さん



### 「自然・文化・食・おもてなし」資源を生かした観光振興

新庄市での実地研修が決まったときは、観光資源が少ないところかもしれないと思っていましたが、暖かく迎えてくれる人びと、豊かな自然などがあり、新庄市に対する見方が大きく変わりました。

観光資源とは、観光客が「新庄市に行こう」と思うことにつながるものであり、歴史的な文化遺産に限らず、新庄市が持つ自然や、新庄まつりなどの行事、「愛をともしつラーメン」やガッキなどのその土地独特の食文化、また観光業で働かれている人たちが、さらには新庄市民の温かい「もてなし」のここも重要な観光資源です。

新庄市では、最上川の舟下り、さくらんぼ狩り、そば打ちの体験など、自然にふれたり、新しい刺激のある体験をしたいと思っている市外の方にもおすすめできるス

ポットがたくさんありました。また、新庄市民の温かく旅行者を迎える心意気を感じるときもあり、これも新庄市の誇りとしてよいところだと思います。

観光客を市外からもたくさん呼び、観光業を盛んにすれば、地元にも働く場所が増え、新庄市のさらなる発展につながります。新庄市でも、市外向けの情報発信に取り組みされている職員の方がいらっしやるとお聞きしました。

観光業の発展には、繰り返し新庄市を訪れてくれるリピーターを増やすことが大切であると思っています。そのために観光業に従事していない一般の新庄市民の皆さんも、そのような新庄市のいいところを知り、わたしが体験させていただいたように市外からやってくる旅行者・観光客の方をいろいろな場所でも温かく迎え入れていただけるとよいのではないかと思います。





わたしが見た新庄。



## 農政

農林水産省  
農村振興局 整備部  
防災課・柏木歩さん

### 生産者の顔が見える 安心・安全な 「食」と「農」

新庄の魅力、わたしはそれを「農」の視点から感じ取りました。農業は人が生きていくうえで不可欠な食料を生産する産業ですが、もつと範囲を広げて、農業を生かした町おこしを目指す新庄の姿を

一週間の滞在期間中に見ることができました。

安全・安心な農作物を産地直送で販売する「まゆの郷」では、お客さんや店の人同士がさまざまな情報交換や世間話をして交流している様子が見られました。近頃、スーパーなどの大型店舗がまちなかを席卷する地域が増えましたが、わたしが住んでいる東京都ではほとんどがこのような大型店舗です。そこでは、季節の旬など関係なく色も形も統一された野菜がところ狭しと棚にならべられ、商品を選ぶ際には食品表示のみを見て、誰にも相談せずに買い物カゴに入れています。このような方法では、「ほんもの」の食材を手に入れることは難しいでしょう。しかし、「まゆの郷」では、生産者の顔が見え、新鮮な旬の素材を手に入れることができ、そこにいけば地域の人の交流が図られます。人同士の交流により「ほんもの」の食材を手に入れることができる、「まゆの郷」にわたしは新庄ならではの魅力を感じました。



## 財政



金融庁  
総務企画局企画課  
仙波早織さん

### 財政再建から 市民協働の まちづくりへ

金融行政に携わっている身として、地方自治の中でも特に関心があった地方財政を中心に述べたいと思います。

研修前調査の中で新庄市が早期健全化団体の指定を受けるほどの厳しい財政状況にあったということが分かりました。

実際に話をうかがって、厳しい財政状況となった主な要因は平成十一年の新幹線延伸に伴う公共事業であったと知りました。新幹線延伸は市の発展のために非常に重要な一歩であった一方、市の財政規模を超えた整備費の負担が生じてしまい、財政難に陥ってしまったという現実には大きな衝撃でした。

その後、財政再建計画が着実に実施され、データを見ても、予想外の短期間で財政状況が好転していました。計画の中でも印象的だったのは、指定管理者制度の活用です。市民文化会館を見学し、利用者ボランティアとしての市民と管理者としてのNPO法人、市役所がお互いに良い刺激を与え合い、単なる財政運営のための制度にとどまらず、市民との協働がよいまちづくりにつながっている真の協働を垣間見ることができました。

財政再建への取り組みは、行政が計画を実行するだけでは、新庄市のようにうまく機能していかないと思います。市民の理解、そして、市民と行政が一体となつて行う真の協働が今後の地方財政には不可欠であると強く感じました。新庄市における真の協働に倣い、ほかの地方、さらに国レベルでも、独りよがりの行政をやめ、お互いが歩みよる国づくりを実現したいと国家公務員としての使命感をあらためて強く感じることができました。

最後になりましたが、温かく迎え入れてくださいました新庄市の皆さまにこの場を借りてお礼申し上げます。

雑巾がけから始まる新たな交流

# 都市×農村 in 旧土内分校



七月十日、「食」と「農」をテーマに、地域間交流イベントが開催されました。会場となったのは、平成十六年三月に閉校した市立萩野小学校土内分校。このイベントには、首都圏や県内各地から約三十人が参加。新世代の農業者による新たな農村交流がスタートしました。

山・川・空・土と  
ふれあう里「土内」で

この交流イベントの仕掛人は、市内で農業を営む齋藤智博さんと吉野敏充さん。二人は、いずれも家業の農業を継ぐためにUターン。新庄・最上地域の安心・安全でおいしい農産物を通して交流を広げたいとイベントを企画しました。

二人は、ふるさとの原風景のなかで山や川、空、土とふれあい、自然を満喫できる場所として旧土内分校を交流の拠点としました。かつて土内地区のシンボルだった分校を活用することで、地域住民との交流やにぎわいの再現も目的のひとつ。当日は、地域の人たちも山菜採りや魚釣りなど地元の先生として活躍しました。

Uターンだから  
できること

「いままで培ってきた人と人との繋がりを大切に、さらに新庄から交流を広げたいですね」と語る吉野さん。吉野さんは、新庄にUターンする前に、ギャル社長で有名になった「シブヤ米」のパッケージデザインなどを手がけ、また、農家を継がずに東京で働く農家生まれの若者の団体「(倅)セガレ」で活動するなど幅広いネットワークを持っています。

「倅」では、実家の野菜を表参道の青空市で販売したり、全国各地のメンバーの実家への農業体験ツアーを企画するなどの活動をしていました。また、デザインの仕事でも農業に関連した仕事が多くなり、

実家へ戻って農業をしたいという意識が強くなったと話す吉野さん。「新庄には、もともと良いものがたくさんある。Uターンで持ち帰った情報やネットワークを新庄の人や物と繋げたい」その想いと、同じく農業を起点とした地域再生を目指す齋藤さんの想いが一致。このたびの交流イベント第一弾「雑巾がけの思い出」として実現しました。



## Profile —

■吉野敏充さん(鳥越)

1979年生まれ、東京デザイン専門学校卒業後に、ソフト・オン・デマンド入社。映像編集やデザインなどを手がけ、2008年に独立。SODアートワークス代表取締役就任。首都圏で働く農家の息子(セガレ)や娘(セガール)の団体「(倅)セガレ」で活動を続け、2010年春にUターン。現在は、デザインの仕事をしながら、父昭男さんとアイガモ農法による米づくりに取り組んでいる。







## 仮想から現実へ 来て、見て、食べて、ふれあつて

これまで、インターネットを介して農産物の販売や情報発信を行ってきた齋藤さん。

「今までは、インターネット上の交流が主でしたが、実際に来て、見て、食べてもらうことで、農産物に関する理解をさらに深めてもらうことができます」と話し、昼食時には、おにぎり用として準備した「はえぬき」と「さわのはな」の特徴などを説明。

参加者は、自分たちで雑巾がけした教室に座り、おにぎりの食べ比べをしながら自己紹介を行い、徐々に交流の輪が広がります。

その後の「山形クイズ」では、県内の歴史や文化にもふれることができました。

### 地元の先生

#### ■島腹寿弥さん

この交流イベントで地域に活気にぎわいがもどりました。また2回、3回と続くようですが、土内に何度でも来てもらって楽しんでもらいたいです。地域全体で歓迎します。



## 交流イベント第1弾 「雑巾がけの思い出」

午前10時：新庄駅駐車場集合  
午前11時：雑巾がけ&校内清掃  
正午：おにぎりをにぎって  
食べながら自己紹介  
午後1時：山形クイズ  
午後2時：山菜採り&溪流釣り  
午後5時：バーベキュースタート  
午後8時：市内の旅館など  
各宿泊地へ移動

## 交流イベント第2弾！ 「雑巾がけでつながる山形」

○とき 8月26日(木)  
○ところ 旧土内分校  
朝掃除：雑巾がけ  
授業1：収穫体験  
授業2：新庄まつり体験  
H R：体験発表  
放課後：収穫物でバーベキュー  
◎<http://www.tsuchiuchi.com/>  
twitterアカウント tsuchiuchi

### Profile —

#### ■齋藤智博さん(小月野)

1976年生まれ、進学のため上京。その後、都内での会社員生活を経て、農業を継ぐためにUターン。現在は、減農薬栽培による農業を営営し、おらほのどっとこむ提携農家兼農業プレゼンターとして、農業を主体とした地域活性化に取り組んでいる。



昼食後は、山菜採りと溪流釣りの二班に分かれて土内の自然を体験。地元の先生の指導により、ミズやイワナなど夕食の食材を確保。初対面の人がほとんどだった参加者も夕食のバーベキューでは、お互いの情報を交換するなど、参加

## 「食」と「農」の情報発信 交流の拠点に

者同士の交流も図られました。

「交流イベントを終えて、一番印象的だったことは、地元の人たちが予想以上に協力してくれたことと、喜んでくれたこと。今後でもできる限り地元の人を巻き込んで展開していきたいですね」と吉野さん。

齋藤さんは、「参加者から『分校の雰囲気がいい』『別の季節の旬なものをまた食べにきたい』などの感想をいただいた。今後、第二弾、第三弾と回を重ね、土内分校を人や情報の交流拠点にしたい」と新たな展開を模索しています。二人の新たな農村交流への挑戦は始まったばかり。今後の展開が楽しみです。



2010

# 国勢調査

を実施します

平成22年10月1日

今年は5年に一度の国勢調査の年です。今回の調査は、日本が本格的な人口減少社会となつてから最初の国勢調査になります。その結果はわたしたちの将来の生活を支えるための、重要なデータになります。

◎政策経営課情報統計室 ☎内線 425

## 対象

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人とすべての世帯が対象となります(外国人も含まれます)。平成22年10月1日現在の状況を、ありのまま調査票に記入してください。

## 特徴

平成22年の国勢調査は、日本が人口減少社会となつてから最初の国勢調査になります。このため、日本の未来を考えるために欠くことのできない資料となるものです。

## 利用・活用

国勢調査の人口は、衆議院選挙区の決定や、地方交付税の算定などの法定人口として利用されるほか地域防災計画、都市計画、社会福祉政策、経済政策などに利用されます。属性別の人口・世帯数の現状を把握し、それに基づいて政府・自治体の行政計画の策定に役立てます。(高年齢化の実態から、介護需要と介護支援計画など)

さらに、企業での需要予測や店舗の立地計画、教育機関での学術・研究、社会経済の実態把握など、「社会の情報基盤」としてとても大切な役割を担っています。

## 実施方法

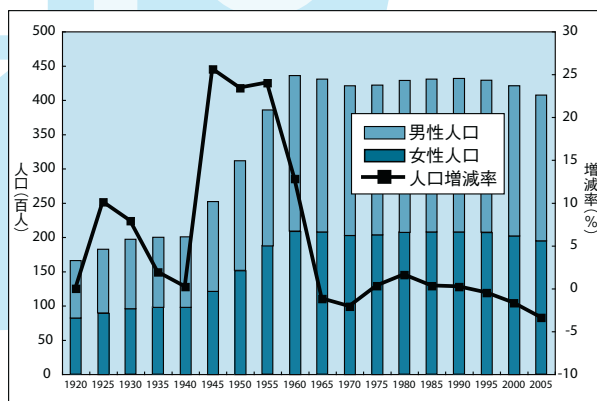
9月下旬から調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。記入していただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員

に渡していただくか、市役所に郵送で提出していただきます。

## 個人情報

記入した内容については、個人情報保護法に基づき、プライバシーは堅く守られます。調査票に氏名などをご記入いただくのは、調査もれや重複調査を防ぐためです。また、万が一、記入内容に不備があった時に照合する手がかりになります。正確な調査を実施するのが目的であり、氏名などが登録や集計の対象になることはありません。

新庄市の国勢調査人口と増減率の推移



★1949年(昭和24年)稲舟村と合併 ★1955年(昭和30年)萩野村と合併  
★1956年(昭和31年)八向村と合併 ★1960年(昭和35年)4万人を超える

# 夜間休日診療所の利用状況

夜間休日診療所は、設置から3年が経過しました。平成21年度の利用者数は4,756人(前年比7.7%増)で、新型インフルエンザの流行の影響で、多くの人が利用しました。

患者の年齢は、15歳以下が67%を占め小児科の需要が高くなっています。また、地域別では、新庄市内が62.8%、最上管内町村の利用者も32.2%と新庄・最上全域の住民が利用しています。

## 症状に合った受診を

夜間休日診療所は、夜間・休日に比較的症状の軽い救急患者を対象に、応急的な診療を行うために設置されたもので、急な発熱や腹痛などの内科・小児科の初期診療を目的としています。時間外診療は、軽症と思われる場合は「夜間休日診療所」を、重症と思われる場合は「救急告示病院」を、というように症状に合った受診をお願いします。

## 平成21年度の利用状況

| 区分             | 診療日  | 利用者数   | 1日平均  |
|----------------|------|--------|-------|
| 平日(午後7時～9時30分) | 295日 | 2,108人 | 7.1人  |
| 休日(午前9時～午後5時)  | 70日  | 2,648人 | 37.8人 |
| 計              | 365日 | 4,756人 |       |

## 年齢別患者数

- 6歳以下 2,103人(44.2%)
- 7～15歳 1,077人(22.7%)
- 16歳以上 1,576人(33.1%)

## 居住地別患者数

- 新庄市 2,988人(62.8%)
- 最上管内町村 1,531人(32.2%)
- その他 237人(5.0%)

## 他院紹介

- 39件 県立新庄病院 36件、その他3件

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線515





## 技術を磨いて 目指せ!プロゴルファー

羽黒高校2年  
山科 和彦さん(鳥越)

「初めての国体出場なので、参加するのがとても楽しみです」そう話す山科さんは、6月に行われた東北総合体育大会ゴルフ競技会(兼平成22年度国民体育大会東北ブロック大会)に県代表チームのメンバーとして出場し、見事準優勝、国体出場を決めました。

「家の近くにゴルフ練習場があったので、父と遊びに行き、ゴルフを始めたのが小学5年の時。中学1年で初めて参加した大会で優勝したのが、ゴルフに真剣に取り組むきっかけになりました」日新中学時代は、バスケットボール部に所属し、部活終了後にゴルフを練習する毎日でした。中学3年で出場した東北ジュニアゴルフ選手権で優勝し、日本ジュニア選手権に出場。その時、現在所属する羽黒高校ゴルフ部監督に誘われ、迷わず進学を決めました。

「毎日、部活で2時間、新庄に帰ってから1時間、練習場



で打ち込んでいます。思うようなショットが打てず、ゴルフが嫌になることもあります。練習場の皆さんや練習中に温かい声をかけてくれる皆さんへの感謝を忘れず、これからも一生懸命練習したいと思います。将来は、石川遼選手や池田勇太選手のようなプロになるのが夢です」と話す山科さんの輝く瞳は、まっすぐに前を見つめています。



パソコン用  
プリンタの



インクカートリッジ  
里帰りプロジェクト



インクジェットプリンタ6社(ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマーク)では、郵便局にインクカートリッジ回収箱を設置し、皆さんが家庭で使い終わったインクカートリッジを各メーカーへ里帰りさせてリサイクルする取り組みを実施しています。

### インクカートリッジはリサイクル可能な貴重な資源

市内では、新庄郵便局、泉田郵便局、本合海郵便局で回収箱を設置しています。ごみの減量化、リサイクルの推進のためにも、家庭で使用済みとなった上記6社のインクカートリッジの回収にご協力ください。



### 再資源化のしくみ

使い終わったインクカートリッジは「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」回収箱設置郵便局にお持ちください。集まったカートリッジは「ゆうパック」で、仕分け拠点に届けられます。仕分け拠点でカートリッジはプリントメーカーごとにひとつひとつ仕分けされ、各メーカーへ渡されます。

その後、各メーカーで責任をもってリサイクルされます。仕分け拠点には、障がい者の人たちが多く働いていて、障がい者雇用支援の一助となっています。

◎詳しくは、環境課環境保全室へ。

☎内線432

山尾順紀



## 山形新幹線 大曲延伸推進会議

横手市で山形新幹線大曲延伸推進会議が行われ、来賓として参加しました。

山形新幹線が新庄まで延伸されて10年。当時発足した大曲延伸推進会議も、これまでとは違い、新幹線一本やりから乗り継ぎや利便性の向上に向けた取り組みが主となっています。

その中で、「まち歩きガイド」新庄から大曲までというガイドブックが、秋田文化出版から発売されました。その編集長の話では、県を越えて市町村を紹介する企画は少なく、取り組んでみて自分自身が、県の壁を乗り越えることで新たな発見をした。見方を変えれば観光開発の目玉はたくさんあるとのことでした。

海外からの観光客も近年日本の原風景を求める要望が強くなっています。新庄から大曲まで県境を越えて連携することで、それに応える可能性が十分にあります。また、新庄にすれば一気に山形・秋田・宮城の三県楽しめる企画も考えてみたいものです。



わらすこ  
広場



7月の子育て講座の  
様子を紹介します

7月  
17

わらすこ  
ワンダーランド開催

わらすこ広場を活用した子育て支援事業として、地域における子育て力の向上やコミュニケーションの活性化などを目的にした「わらすこワンダーランド」が開催されました。

この事業は、わらすこ広場を子育て支援の拠点施設とし、遊具の安全性を確保したうえで、子育て家庭の交流や、子育てサークルの活動の場として、多くの方に利用してもらおうと実施しました。保育関係施設・NPO団体・子育てサークル・Y・Yボランティアなどたくさんの方々にご理解、ご協力をいただき、アイディアいっぱい、さまざまな催しが行われ、大盛況となりました。

イベントは、中部保育所年長児による「やんちゃ太鼓」の演奏でオープン！

フルートアンサンブル・ソワールによる「フルートコンサート」、はぐくみ保育園の子どもたちによるお遊戯や太鼓演奏と続き、見学に訪れたこらっせ三階「日和」のおじいちゃん・おばあちゃんからも大きな拍手がわきました。

8月

遊びの広場と巡回相談

8/17 わくわく新庄

8/19 八向地区公民館

天気の良い日は「水遊び」を予定しています。  
着替えなどの準備をお願いします。  
※8月24(火)・25(水)・26(木)の  
新庄まつり期間は開館します。  
8月27日(金)は臨時休館となります。

◎新庄市地域子育て支援センター(わらすこ広場内)  
☎22-5115

午後からは、おもしろ理科実験やビーズでの腕輪作り、ゲーム、巨大迷路、お花のアレンジメントなど参加型のイベントを行いました。

地域子育て支援センターでは、「みんなで子育て支えます」をモットーに、これからも子育て支援に関わる団体などと相互連携を保ち交流促進に努めます。

次回は、十二月に開催を予定しています。

めづめづ通信

第5号

ひとくち

新庄市史

④ 地租改正

明治政府の国家の骨格を形づくったもの(一つの法令が地租(法で土地に課した税)改正である。地租改正は、明治六年七月公布の地租改正法に基づいて、従来長く続いてきた土地制度を根本的に改革し、新生の明治国家の財政確立をめざした政府の大改革であった。

従来の土地制度では、土地は幕府・諸藩のもので、農民は年貢を納めてこれを耕作するというものであったが、明治政府はこれを根本から覆して、土地を現在保有している農民・町人の私有地としてその所有権を認め、その土地の価格(地価)を基準として、租税を貨幣で徴収することとした。しかし、財政基盤がまだ確立していない新政府は、陸海軍費をはじめとする膨大な支出を賄うため、地租を高率にせざるを得なかった。このため、農民の不満が高まり、各地で地租改正に反対する騒動や、地価の変更を求める訴訟が起った。

地租改正が、政府や農民に与えた影響は極めて大きい。まず政府にとっては、安定した貨幣による税収入で、近代化を推進することができた。一方、自作農にとっては、地租は極めて重い負担となり、身代限り(破産)に至

郷土の歴史





行きかうまち



ふれあうまち



学びあえるまち

しんじょう

# 今月の本

8月の  
おすすめ

## 『水木しげるゲゲゲの 大放談』

水木 しげる／著



漫画家・水木しげるの画業60周年を記念し、ゲゲゲの女房&娘に加え、中川翔子、佐野史郎、南伸坊、荒俣宏といった多彩なゲストと繰り広げる抱腹絶倒のスペシャルトークを収録。  
まんが「テレビくん」も掲載。

2010  
国民読書年

## 今月のテーマ展示 『平和への祈り』

「新庄市平和都市宣言」を記念して、戦争・平和に関する本を展示します。戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える機会となるような本を集めましたので、ぜひ手にとってみてください。

### ●児童図書●

楽しい!おいしい!小学生のクッキングで自由研究  
……………成美堂出版  
どうしてあめがふらないの?……………いもとようこ  
川のカエルと生きものたち……………松橋 利光  
生きものがきえる〜もったいないばあさんと考えよう世界のこと〜……………真 珠 まりこ  
すいかくんがね……………とよたかずひこ  
おばけのパケロンゆうえんちのまいごおばけ!?  
……………もとしたいつみ  
夜空の訪問者……………斉藤 洋

### ●一般図書●

句集 十六夜……………鷹羽狩行(新庄市出身)  
耳で読む読書の世界〜音訳者とともに歩む〜  
……………二村 晃  
命の授業〜30万人が泣いた奇跡の実話〜  
……………腰塚 勇人  
おじゃみ〜京都怪談〜……………神 伯 しず  
30代40代の転職採用を勝ち取る!面接テクニック  
……………井上 隆一(他)  
龍馬の油断〜幕末七人の侍〜……………津本 陽  
わかってきた星座神話の起源〜エジプト・ナイル  
の星座……………近藤 二郎  
メモリーを消すまで(上・下)……………山田 悠介  
世界で一番キケンな生きもの……………幻 冬 舎  
クスリは飲んではいけない!?……………船瀬 俊介  
日本のすごいモノづくり……………学研教育出版  
鬼九郎孤月剣……………高橋 克彦  
YOMEちゃんの家(うち)飲みレシピ〜簡単おつまみ191〜……………大井 純子

■開館時間:午前10時〜午後6時  
8月22日(日)まで午前9時開館  
■休館日:毎週月曜日  
◎市立図書館 ☎22-2189



蔵書検索

## 市

民プラザでは、さらに広い世代の市民に利用してもらいたいと、新たに子どもを対象とした事業「キッズ・フェスタ」を十月に行う準備を進めています。子どもへの参加はもちろんですが、親や祖父母にも参加を促し、幅広い世代のコミュニケーションを図ろうと計画しています。市内の子育て支援団体の協力も得て、さまざまな催し物を行う予定です。その一番の目玉となる事業が「子どもフリーマーケット」。これは、自分が使わなくなった物を、ただ捨てるのではなく、だれかに使ってもらふことで、物を大切にすることを育て、さらにお金の大切さも知ってもらふというものです。子どもの遊びとしてだれもが経

験する「お店屋さんごっこ」は、遊びを通して簡単な経済の流れを知ることが出来ます。「子どもフリーマーケット」は、この遊びの「お店屋さんごっこ」から、ひとつステップアップした体験となることを目標にしています。使わなくなったおもちゃや本、洋服などを選び、展示することから値段を決めて売ることまで、すべて子どもたち自身で行います。お客さんとのやり取りなどを通して、子どもの社会力も養われると考えています。また、当日の売り上げについては、募金などの使い道も考えています。現在、出店参加者の募集を行っていますので、お問い合わせください。

## キッズ・フェスタを 開催します!



▲準備を進める協力団体の皆さん(7月21日/市民プラザ)

「子どもフリーマーケット」  
出店参加者募集!  
▼対象 小学三年生〜六年生  
▼とき 十月三日(日)午前10時〜  
▼ところ 市民プラザ  
▼参加費 五〇円(二区画)  
▼定員 先着三〇人  
▼申し込み 九月十五日(水)まで  
◎市民プラザ ☎22-4200

らないまでも、地租を納入するために所有地を借金の抵当にしたり、旧藩時代には禁止されていた土地の永代売買が、明治五年には既に公認されていたので、所有地を売り渡し小作農に転落したり、離村する者も続出した。その結果、村内外の有力者が多くの土地を集積し、地主化していった。そして、土地を手放し、村から離れざるを得なかった小作農たちは、やがて没落士族などとともに、近代産業を担う初期の工場労働者となるのである。新庄・最上地方では、明治五年十月ころから地価を決定するための立付米(小作米)調査が実施され、明治八年度から地租が徴収されたが、明治十年代の最上郡内の貧窮状況の原因の一つとして、地租改正の不当性を指摘する記録も多い。

#### ■ようこそ!わらすこワンダーランドへ(7月17日)



わらすこ広場を多くの子どもたちに楽しんでもらいたいと「わらすこワンダーランド」を開催。保育所・保育園児童による発表や各団体によるさまざまな催しが開かれ、会場は元気な子どもたちの笑顔に包まれました。

#### ■まちなかキッズ楽校・開校!(7月31日/ゆめりあ)



親子や友達と工作や折り紙などを楽しんでもらおうと「まちなかキッズ学校」が開催されました。会場では、木工クラフトなどの工作のほか、かぶと虫レースも開かれ、子どもたちは夏休みのひとこまを楽しみました。

#### ■あじさいいけばな展(7月17日~18日/市民プラザ)



市の花アジサイの彩りを多くの人に楽しんでもらいたいと、「あじさいいけばな展」が開催されました。会場には、新庄華道連盟会員の趣向を凝らした作品が展示され、訪れた人は、その彩りの美しさと造形に見入っていました。



#### ■川面に彩り「灯ろう流し」(7月28日/升形川)

地域を流れる川に親しみ、子どもたちに夏の思い出を作ってほしいと「升形川に親しむ会」が灯ろう流しを行いました。子どもたちの願い事や絵が描かれた灯ろうや、会員手づくりの灯ろう約1,500個が子どもたちの手で升形川に流されました。やわらかで色とりどりの灯りが川面を照らし、会場は幻想的な雰囲気で包まれました。



#### ■あじさいまつり(7月11日/あじさいの杜)

34種約4万5千株のアジサイが咲きそろったあじさいの杜で「あじさいまつり」が開催されました。会場では、見ごろを迎えた色とりどりのアジサイのなか、認証保育所の子どもたちによる遊戯の発表やコンサート、魚のつかみ取りや写真撮影会など多彩な催しが開かれ、集まった市民が楽しみながらアジサイに親しみました。

# まじょう まちがど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

## TOPICS





## ■みちのく民話まつり“夏語り”

(7月7日／旧矢作家)

七夕の夜に地域に伝わる民話や昔話を楽しもうと「みちのく民話まつり・夏語り」を開催しました。この催しは、10月に開催する「全日本語りの祭り」のプレイベントとして開催。泉田小学校の子どもたちや新庄民話の会の会員が民話や昔話を語り合いました。



## ■花壇で入居者に癒しを

(6月28日／新寿荘)

新庄神室産業高校の3年生13人が、特別養護老人ホーム「新寿荘」を訪れ、中庭の花壇作りを行いました。生徒たちは、色とりどりの花で、入居者に癒しを提供したいと、花壇の土を起こした後に、約200株の花を植え、居室の窓から見える景色に彩りを添えました。



▲アサガオコンサートでOyazi(おやじい)合唱団が自慢のコーラスを披露(7月31日／市民文化会館)



## ■消防団活動に協力(7月6日／市役所)

消防団活動に積極的に協力している事業所として、【写真右から】(株)協同測量設計センター(加藤賢一代表取締役)、永井建設(永井敏行代表取締役社長)、新光印刷(井上禎治代表取締役)を消防団協力事業所として認定し、表示証を交付しました。



## ■市に善意の寄贈

新庄ベンチャークラブ(涌井朋子会長)から障がい者福祉の向上に役立ててもらいたいと障がい者福祉に関する本18冊を寄贈いただきました。本は市立図書館で貸出用として活用させていただきます。



1 第54回市民雪セミナーを開催(7月18日／雪の里情報館)

2 明石洋子さんを講師に障がい者福祉に関する講演会を開催(7月10日／ゆめりあ)

3 那覇市の琉球舞踊団が神室荘を慰問し本場の琉球舞を披露(7月10日／神室荘)

# 8月の

# おしらせ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

## 小学校就学時健康診断

| 実施日     | 会場校 | 入学予定小学校   |
|---------|-----|-----------|
| 9/ 2(木) | 沼田小 | 沼田、北辰     |
| 9/ 3(金) | 日新小 | 日 新       |
| 9/ 9(木) | 泉田小 | 泉田、萩野、昭和  |
| 9/16(木) | 新庄小 | 新庄、本合海、升形 |

○対象 来春小学校への入学予定者  
○受付時間 午後1時～  
※詳しい案内を保護者に郵送します。  
○詳しくは、学校教育課へ。 ☎内線448

▼申し込み 9月9日(木)まで  
☎ 29-1341  
問 最上総合支庁農村計画課

▼材料代 1,000円  
▼定員 30人(応募多数の場合抽選)  
▼申し込み 9月9日(木)まで  
☎ 29-1341  
問 最上総合支庁農村計画課

## 最上伝承野菜を使った料理講習会

▼申し込み 8月16日(月)まで  
☎ 内線514  
問 健康課健康推進室

▼申し込み 8月18日(水)午前9時  
30分～正午 ▼ところ 市民プラザ  
▼内容 糖尿病予防の話しと調理実習 ▼材料代 500円  
▼定員 25人  
▼申し込み 8月16日(月)まで  
☎ 内線514  
問 健康課健康推進室

## 夏の食材を使った糖尿病予防料理教室

▼申し込み 8月18日(水)午前9時  
30分～正午 ▼ところ 市民プラザ  
▼内容 糖尿病予防の話しと調理実習 ▼材料代 500円  
▼定員 25人  
▼申し込み 8月16日(月)まで  
☎ 内線514  
問 健康課健康推進室

## 平成22年度 山形県・新庄市総合防災訓練

大規模な災害に備える総合的な防災訓練を県と市の合同で実施します。訓練当日は、場所、時間帯により交通規制を行う箇所もありますのでご協力ください。  
○とき 9月5日(日)午前8時～午後0時10分  
○会場 駅前通りから最上公園、市民文化会館、市民プラザ  
○内容 防災ヘリコプターによる救助訓練、ライフライン復旧訓練、大規模火災消火訓練  
○詳しくは、環境課消防通室へ。 ☎内線435

▼申し込み 9月10日(金)まで  
☎ 22-1276  
問 はぐくみ保育園

▼申し込み 9月10日(金)まで  
☎ 22-1276  
問 はぐくみ保育園

## チーズ料理無料講習会

▼申し込み 9月10日(金)まで  
☎ 22-1276  
問 はぐくみ保育園

▼申し込み 9月10日(金)まで  
☎ 22-1276  
問 はぐくみ保育園

## 市民プラザ エスニック料理教室

▼申し込み 9月10日(金)まで  
☎ 22-1276  
問 はぐくみ保育園

## 新庄まつり期間8月26日(木)の可燃ごみ収集について

新庄まつり期間中は早朝にごみを収集します。収集日が8月26日(木)にあたる町内の人へは、必ず25日(水)午後11時までにごみを出してください。また、26日(木)のガラス・陶磁器類、25日(水)の食品トレーの収集は通常通り行います。  
○詳しくは、環境課環境保全室へ。 ☎内線432

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

## 市民将棋大会 参加者募集

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

## 市民登山会「蔵王瀧山登山」参加者募集

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

## 国民健康保険証が新しくなります

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

▼申し込み 8月26日(木)まで  
☎ 22-2086  
問 事務局 笹

## 井戸水を利用した消雪工事のご提案

冬の準備はお早めに！  
シーズン前の点検も承ります！

井戸の掃除、カナケ(鉄分)除去など井戸のことならなんでも

株式会社アイテック東北

井戸ボーリング工事・消雪工事 ☎0233-44-2657

— 介護認定された方、障がい者の方限定の移送サービス —

介護100円タクシー

■介護保険内 30分以内 運賃100円  
http://www.kaisei-company.com/ (予約制) ご不明な点は お気軽にお電話下さい。  
※介護保険利用者の方は、介護保険の自己負担が発生します。  
■介護保険外(障がい者の方1割引) 15分以内 運賃1,560円  
カセイ介護タクシー TEL 0233-29-2912





## 平和都市宣言旗掲揚式

○8月15日(日)午前11時45分～午後0時5分  
○市役所前駐車場  
○戦没者・原爆犠牲者の追悼、平和祈念黙とう  
※正午にサイレンが鳴ります。  
◎市平和都市宣言推進会議 ☎内線217

## 平成22年度 第2回

### 「きれいな川で住みよいふるさと運動」

○9月12日(日)午前6時～8時(予定)  
○市内8河川の清掃(ごみ拾い、除草など)  
◎都市整備課雪対策・道路管理室 ☎内線533

## 催しなど

### 「雪の里ご近所文化展」

～乳幼児から全世代の市民表現力～  
●とき 8月10日(火)～9月23日(木)  
●ところ 雪の里情報館  
●内容 木工、絵画、書、写真、装飾品などの展示  
※毎週月曜日は休館日です。  
◎入場無料。詳しくは、雪の里情報館へ。  
☎22-7891

### 第13回 わくわく新庄フェスティバル

●とき 9月4日(土)、5日(日)午前9時～午後9時(5日は午後4時まで)  
●ところ わくわく新庄  
●内容 絵画、押し花、手織り、華道、絵手紙、ステンドグラスなどの展示、歌と踊りの集い(4日午後6時～)、あそびの広場(5日午前10時～)、食堂、バザー、お茶席など  
◎詳しくは、わくわく新庄へ。 ☎23-0197

### 第8回「新庄かかし祭り」開催中

今年も面白かかしが大集合!  
●とき 9月12日(日)まで  
●ところ エコロジーガーデン  
◎詳しくは、かかし祭り実行委員会(農林課農業公園室)へ。 ☎内線266

### 産直まゆの郷「新庄まつり市」

●とき 8月23日(月)～25日(水) 午前9時～午後6時(24日のみ午後5時まで)  
●内容 夏野菜、花、お祭り用農産物の販売  
◎詳しくは、産直まゆの郷へ。 ☎23-5007

### 第32回 市総合体育大会

【野球】8月11日(水)、12日(木)、17日(火)、18日(水)、31日(火)・市民球場(ナイター開催)  
【ソフトボール】8月29日(日)・横根山運動広場  
◎詳しくは、市体育協会へ。 ☎23-2978

### 「原蚕の森」ワークショップ開催

●とき 8月21日(土)～24日(火)午前9時～午後3時  
●ところ エコロジーガーデン「原蚕の森」  
●内容 青山学院大学学生によるワークショップ(秘密基地制作、地元食材での料理など)  
※8月20日(金)雪の里情報館で「都市農村交流」に関する研究会も実施します。  
◎詳しくは、農林課農業公園室へ。 ☎内線265

### 地区「敬老会」開催を支援します

敬老の日に市内で開催される「敬老会」に対し費用の一部を助成しています。

問 市母子寡婦福祉協会  
☎23-3828

### 親子の集い参加者募集

▼対象 母子世帯  
▼とき 8月29日(日)午前8時30分市役所前出発～午後4時30分 ▼ところ リナワールド(上山市) ▼参加費 大人500円、子ども300円、幼児200円(保険代)  
▼申し込み 8月20日(金)まで  
問 市母子寡婦福祉協会

問 市身障者協会 ☎23-3008

### 国民年金任意加入制度について

敬老会の開催を計画され、支援に関する相談がある場合は8月31日(火)までお申し込みください。  
問 市社会福祉協議会 ☎22-5797

老齢基礎年金は、20歳から60歳までの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、満額の年金に近づけることができます。なお、老齢基礎年金を受給するためには、保険料の納付済期間や保険料の免除期間などが原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意

### 危険物取扱者試験

▼とき 10月9日(土)  
▼ところ 神室産業高校

問 最上総合支庁建設部建築課  
☎29-1418

### 私道(位置指定道路)の現場調査のお知らせ

県では建築物の建築のために必要な私道の位置指定認定業務を行っています。既存の私道について、当時の申請内容と現在の道路状況が相違していないか現場調査を行っています。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

問 新庄年金事務所  
☎22-2050

### 日本赤十字社職員採用試験のご案内

▼職種 一般事務職(若干名)  
▼申し込み 9月10日(金)まで  
※応募方法の詳細は、日本赤十字社山形県支部ホームページでご確認ください。  
問 日本赤十字社山形県支部  
☎023-641-1353

### 最上地区日中友好訪中参加者募集

▼とき 10月12日(火)～17日(日)  
▼訪問地 大連、北京など  
▼旅行代金 160,000円(別途費用あり)  
▼申し込み 9月10日(金)まで  
問 山新観光新庄営業所  
☎23-2725

▼申し込み 8月30日(月)～9月8日(水)まで  
問 消防試験研究センター山形県支部  
☎023-631-0761

docomo

最近携帯電話の調子はどうですか?今ドコモでは...

## 無料 ケータイてんけん・料金診断実施中

Check

1. ケータイクリーニング(他社様のケータイでもOK)
2. 専用測定器での診断
3. 外観チェック(各種キャップなど交換)
4. 料金プランの見直し

ケータイてんけんを実施して頂いた方に  
ケータイクリーナーをプレゼント!!  
※数に限りがございます。無くなり次第終了となります。

ドコモショップ 新庄中央通り店

営業時間AM10:00～PM7:00  
新庄市小田島町6-60

☎0120-238-702

# 新庄の昔ばなし

『新庄のむがす三十選』より



## のど焼げ団子山



むがす とんと あったけど  
むがす あつどこさ 婆さま  
嫁こ いだつけど。婆さまあ 何  
てかにて 根性悪い婆さまで 嫁  
こさ 食うものも食しえだぐない  
なあけど。ほんで あつどぎ 婆  
さまあ  
「町の法事さ 行がねんね」  
て 行つたけど。嫁あ  
「ああ いがったちや。婆さま  
いねうづ んめもの食んねんね」  
て 団子 煮始めだつけど。  
ほのうづ 団子 いい あんべ  
(具合) 煮えてきて ぶんぶん  
んめ におい してきたつけど。  
ほんで 嫁あ じゅぐつて 箸で  
刺して あんまり 熱さげ ふう

ふう 吹いで あーんて 口開いで  
食うべと思つたどぎ がらがらつ  
て 戸開いで 婆さまあ  
「忘れものした」  
て ぼいら(突然) 戻ってきたつ  
けど。  
ほうすつど 嫁あ たまげで  
たまげで 熱い団子 ぐえつて  
口さ 入つてやつたけど。ほんで  
も ほれ 団子あ あんまり 大  
けて のどさ引かがつて どつ  
ちやもこつちやも 動がねくなつ  
たつけど。嫁あ  
「熱ちゃ 熱ちゃ」  
て 思つたげんども 婆さま  
いださげ 熱ても言わんね。  
たあだ 眼 白黒したつけど。  
ほんでも 団子煮つたどぎ 婆  
さまさ 見しえでぐねくて わら  
わら(急いで) 戸口さ行つて  
婆さまどぎ 外さ向けて  
「婆んちゃん 婆んちゃん あ  
の山 何てゆう山ですべやあ」  
て 聞いたつけど。ほうすつど  
婆さまあ  
「あー あの山があ。ありや な  
あ『のど焼げ団子山』ってゆう  
山よ」  
て 言つたつけど。ほうすつど  
嫁も  
「んだがー 俺の実家んどこの  
『当でつけ山』ど似てついで」  
て 言つたけど。  
どんび すかんこ ねえけど

## 全日本語りのまつり in 新庄

- とき 10月9日・10日・11日
  - ところ 市民文化会館ほか
  - 特別参加券(新庄市民限定)  
1日券 500円  
共通券(3日間) 1,000円
- ※詳しくは、実行委員会(新庄ふるさと歴史センター)へ。 ☎22-2188



この話は、ほかの地域では語られていない新庄地方独自の昔話といわれています。意地の悪い姑を頓知をはたらかせて見事にやりこめる笑い話ですが、このようなしたたかな心と知恵を持って生きていくことが大事という先人の教えが込められている話です。さて、新庄には、この話をモチーフにした「のど焼げ団子」と名づけられた菓子があるのを知っていますか。昔話は、思いがけない形でも受け継がれています。昔話は、次代に伝え、残していかなければならない貴重な新庄の無形の文化遺産のひとつです。

(新庄民話の会会長 佐藤 榮二)  
絵黒坂敏生さん(鮭川村)

## 表紙の写真

### 水遊び最高! ~市民プール~

夏らしく暑い日が続く毎日、市民プールは水遊びを楽しむ子どもたちで大にぎわい。水をかけ合ったり、泳いだり、子どもたちの笑顔と歓声に包まれています。全長60メートルのウオータースライダーも子どもたちに大人気。市民プールの営業は、8月22日まで。ぜひ、おこしく下さい。



## 6 月末現在の新庄人

|     |                    |
|-----|--------------------|
|     | 39,182人(39,486人)   |
| 女   | 20,457人(20,603人)   |
| 男   | 18,725人(18,883人)   |
| 世帯数 | 13,507世帯(13,488世帯) |

### 6月の異動

|    |          |
|----|----------|
| 出生 | 16人(21人) |
| 死亡 | 23人(46人) |
| 転入 | 65人(59人) |
| 転出 | 58人(54人) |

※( )は1年前の住民基本台帳